情報棟実習室(61 号館1階) 認証システム 利用マニュアル

(Windows 7 版)

最終更新日:平成22年04月20日

1. 認証設定

- 1. 1. Secure W2 のインストール(導入)
- "SecureW2_EAP_Suite_111.zip"という圧縮ファイルを右クリックし、"すべて展開 (T)…"を選択してください.すると、図1の画面が表示されるので、"展開(E)"をク リックしてください. 圧縮ファイルが展開(解凍)され、"SecureW2_EAP_Suite_111" というフォルダが作成されます.

※圧縮ファイルを右クリックしても"すべて展開(T)..." がない場合は,任意の解凍ソフトで解凍してください.

○ ● 正緒 (ZIP 形式) フォルダーの展開	
展開先の選択とファイルの展開	
ファイルを下のフォルダーに展開する(F):	(弁昭(p)
	≫.∺(∩)
◎ 元 1 町に席用C10とファイルとながする(日)	
展開(E)	= = キャンセル

図1 圧縮ファイルの展開(解凍)画面

② "SecureW2_EAP_Suite_111"というフォルダ内の"SecureW2_EAP_Suite_111.exe"
 をダブルクリックし、実行してください.

※ユーザーアカウント制御『次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しま すか?』というメッセージが表示された場合は、"はい(Y)"を選択してください.

③ 図2のような言語選択の画面が表示されます. "English"を選択し, "OK" ボタンを クリックしてください.



図2 SecureW2インストール画面(言語選択)

④ 図3のような画面が表示されるので、"Next"ボタンをクリックしてください.

SecureW2 EAP Suite 1.1.1 for Windows Setup		
\bigcirc	Welcome to the SecureW2 EAP Suite 1.1.1 for Windows Setup	
SecureW2	Setup will guide you through the installation of SecureW2 EAP Suite 1.1.1 for Windows.	
	It is recommended that you close all other applications before starting Setup. This will make it possible to update relevant system files without having to reboot your computer.	
	Click Next to continue.	
	Next > Cancel	

図3 SecureW2インストール画面

⑤ 図4のような使用許諾に関する画面が表示されるので、"I Agree" ボタンをクリックしてください.

SecureW2 EAP Suite 1.1.1 for Windows Setup		
License Agreement		
Please review the license terms before installing SecureW2 EAP Suite 1.1.1 for Windows.		
Press Page Down to see the rest of the agreement.		
SecureW2 Eap Suite, Copyright (C) SecureW2		
This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.		
This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.		
If you accept the terms of the agreement, click I Agree to continue. You must accept the agreement to install SecureW2 EAP Suite 1.1.1 for Windows.		
Nullsoft Install System v2.38,1-Unicode		
< Back I Agree Cancel		

図4 SecureW2 インストール画面(使用許諾)

⑥ 図5のような画面が表示されます. "TTLS 4.1.0"のみにチェックを入れ, "Install" ボタンをクリックしてください.

😔 SecureW2 EAP Suite 1.1.1 for Windows Setup			
Choose Components Choose which features of SecureW2 EAP Suite 1.1.1 for Windows you want to install.			
Check the components you want to install and uncheck the components you don't want to install. Click Install to start the installation.			
Select components to install:	Description Position your mouse over a component to see its description.		
Space required: 3.3MB			
Nullsoft Install System v2.38,1-Unicode ————————————————————————————————————	Back Install Cancel		

図5 SecureW2インストール画面(利用項目選択)

- ⑦ ⑥を実行すると SecureW2 のインストールが始まり、しばらくすると図6のような画面が表示されます. "Reboot now"を選択し、"Finish"ボタンをクリックしてください.しばらくすると自動的にノート PC が再起動します.これで SecureW2 のセットアップは完了です.
 - ※しばらく待っても再起動しない場合は、手動で再起動してください.



図6 SecureW2セットアップ完了画面

1.2. SecureW2の設定

前節1.1.まで行ったら,情報棟実習室(61号館1階)のネットワークを利用する為 に Secure W2 の設定を行います. 設定を進める前に LAN ケーブルを外してください.

図7のような、タスクバー端のスタートボタン(Windows 7のロゴのボタン)をクリックし、"コントロールパネル"をクリックします。



図7 Windows 7 スタートメニュー画面

② ①を実行すると、コントロール パネルのウィンドウが表示されます.図8のようにウィンドウ右上の "表示方法:"を "カテゴリ"にしてください.



③ 図9のように、"ネットワークとインターネット"の項目の"ネットワークの状態とタ スクの表示"をクリックします.



図9 ネットワークの状態とタスクの表示

④ ネットワークの状態画面が表示され、図10のような状態になっています.

※図10のようになっていない場合は,LAN ケーブルが接続されているはずなので, LAN ケーブルを外してください.また,LAN ケーブルが外れていても,wireless によ りインターネットに接続されている場合があります.その場合には,⑤に進んで下さい.

基本ネットワーク情報の表示と接続のセットアップ	
🔍 — x — 🎱	フル マップの表示
-PC インターネット (このコンピューター)	
アクティブなネットワークの表示 現在どのネットワークにも接続していません	ネットワークに接続

図10 ネットワークの状態図(LAN ケーブル非接続時)

⑤ 図10の状態が確認できたら、机上の LAN ポートとノート PC を LAN ケーブルで接続してください.しばらくすると、図10の状態から図11の状態に変化します.
 図11の状態が確認できたら、"ローカルエリア接続"をクリックしてください.

基本ネットワーク情報の表示と接続	ものセットアップ			
N		— X — 🧉	0	フル マップの表示
-PC (このコンピューター)	ネットワーク	インター	ネット	
アクティブなネットワークの表示。				―― 接続または切断
ネットワーク パブリックネットワーク		アクセスの種類:	インタ・ し	ーネット アクセスな
		接続:	🖗 ローカル	ル エリア接続

図11 ネットワークの状態図(LAN ケーブル接続時)

- ⑥ ローカルエリア接続を開いたら、"プロパティ"ボタンをクリックしてください.
- ⑦ "認証"タブをクリックすると図12のような画面が表示されます.以下のように設定をしてください.
 - "IEEE 802.1X 認証を有効にする(N)"にチェックを入れてください.
 - "ネットワークの認証方法の選択(M):"は "SecureW2 EAP-TTLS"を選択してく ださい.
 - "ログオンするたびに,この接続用の資格情報を使用する(R)"はチェックを外してください.
 - "認証されていないネットワーク アクセスにフォールバックする(F)"にチェック を入れてください.
 - 図12と同様な設定状態が確認できたら、"設定"ボタンをクリックしてください.
 - ※ "認証" タブがない場合は、本マニュアル11ページの "3. 認証タブがない場合

の対処"を参照し、認証タブを出現させてください.

□ ローカル エリア接続のプロパティ			
ネットワーク認証 共有			
このイーサネット アダプターに認証済みのネットワーク アクセスを提供するに は、このオプションを選択してください。 IEEE 802.1X 認証を有効にする(N) ネットワークの認証方法の選択(M):			
AuthorId: 29114: SecureW2 EAP-TTLS			
🔲 ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(R)			
▼ 承認されていないネットワーク アクセスにフォールバックする(F)			
追加の設定(D)			
<u> </u>			

図12 ローカルエリア接続の設定

⑧ ⑦で"設定"ボタンをクリックすると、図13のような SecureW2 の設定画面が表示 されます."Configure"ボタンをクリックしてください.

SecureW2 Configu	ration
	SecureW2
Profile	4.1.0 (34)
	Profile: DEFAULT New Configure Delete
	OK Cancel

図13 SecureW2 設定画面

⑨ 図14の(a)のような画面が表示されるので、"Use alternate outer identity:"のチェックを外し、図14の(b)の状態に変更してください.
 設定変更後、"Certificates" タブをクリックしてください.

DEFAULT	DEFAULT
Securevv2	Securevv2
Connection Certificates Authentication User account	Connection Certificates Authentication User account
Use alternate outer identity:	Use alternate outer identity:
 Use anonymous outer identity 	Use anonymous outer identity
C Specify outer identity:	C specify outer identity:
Enable session resumption (quick connect)	Enable session resumption (quick connect)
Advanced OK Cancel	Advanced OK Cancel

(a)変更前

(b)変更後



⑩ 図15の(a)ような画面が表示さるので、"Verify server certificate"のチェックを外し、
 図15の(b)の状態に変更してください。

設定後, "OK" ボタンをクリックし, SecureW2 の設定画面を閉じてください. ローカ ルエリア接続のプロパティも同様に "OK" ボタンをクリックし, 閉じてください. ※コントロール パネルのウィンドウも閉じて大丈夫です.

DEFAULT	DEFAULT
\mathbf{C}	
SecureW2	SecureW2
Connection Certificates Authentication User account	Connection Certificates Authentication User account
Verify server certificate	Verify server certificate
Trusted Root CA:	Trusted Root CA:
Add CA Remove CA	Add CA Remove CA
Advanced OK Cancel	Advanced OK Cancel

(a)変更前

(b)変更後

図15 SecureW2 Certificates 画面

 ① ③まで進め、しばらくすると図16のようなポップアップが表示されます. ポップア ップの枠内をクリックしてください.

※ポップアップが消えてしまった場合や,表示されなかった場合は,一度ノートPCからLANケーブルを外し,再度接続すると再び表示されます.



図16 認証情報の入力を求めるポップアップ

 ① ①でポップアップをクリックすると、図17の画面が表示されます. "Username:"に 学生番号(u2X6XXX)を、"Password:"に学科パスワード(Unix 演習端末のログインパ スワード)を正しく入力し、"OK"ボタンをクリックしてください.

"Domain:"には何も入力しないでください. また, "Save user credentials"にはセキュリティ上の観点から, チェックしないようにしてください.

s	ecureW2 Credentia	als
		SecureW2
-	Please enter your cr	edentials:
	Username:	
	Password:	
	Domain:	
		Save user credentials
		OK Cancel

図17 SecureW2 認証情報入力画面

⑬ ⑫で正しく認証情報を入力すると、インターネットへ接続できるようになります.

※本マニュアルでの設定状態のままだと,70号館でインターネットを利用することが できません.70号館でインターネットに接続する場合は,次節 "2.70号館と 61号 館1階でのネットワーク設定の切り替え"を参考に,設定の切り替えを行ってくださ い.

2.70 号館と 61 号館1階でのネットワーク設定の切り替え

※この切り替えは,既に 70 号館でのインターネット利用設定が完了したノート PC を前提 としています.まだ設定が完了していない学生は,70 号館 2 階の学習支援センターで設定 を完了させてください.

61号館1階 ⇒ 70号館:

ローカルエリア接続のプロパティを開き(前節1.2.①~⑥参照),認証タブをクリック してください.図18のように、"ネットワークの認証方法の選択(M):"を"SecureW2 EAP-TTLS"から"Microsoft: 保護された EAP (PEAP)"に変更し、"OK"ボタンをクリ ックしてください.

🖗 ローカルエリア接続のプロパティ	🎴 ローカル エリア接続のプロパティ
ネットワーク 認証 共有	ネットワーク 認証 共有
このイーサネット アダブター(ご翌証)済みのネットワーク アクセスを提供する(こ は、このオブションを選択してだだい。 「 IEEE 802.1X 認証を有対にする(N) ネットワークの認証方法の選択(M): AuthorId: 29114: SecureW2 EAP-TTLS	このイーサネットアダプターに認証を済みのネットワーク アクセスを提供するに は、このオプションを選択してくだだい。 ✓ IEEE 802.1X 認証を有効にする(N) ネットワークの認証方法の選択(M): Microsoft 保護された EAP (PEAP) ↓ 読定(S) ■ ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(R)
☑ 承認されていないネットワーク アクセスにフォールバックする(F)	図 承認されていないネットワーク アクセスにフォールバックする(F)
)這方DOD最設定(D)	這加切還完定(0)
ОК * *>±21/	ОК * #У.ЦИ
OK **>/2/	ОК (#v>tell

(a)変更前

(b)変更後

図18 61 号館1階 ⇒ 70 号館の設定の切り替え

70 号館 ⇒ 61 号館 1 階:

ローカルエリア接続のプロパティを開き(前節1.2.①~⑥参照),認証タブをクリック してください.図19のように、"ネットワークの認証方法の選択(M):"を"Microsoft:保 護された EAP (PEAP)"から"SecureW2 EAP-TTLS"に変更し、"OK"ボタンをクリッ クしてください.

🔋 ローカル エリア接続のプロパティ	🏺 ローカル エリア接続のプロパティ
ネットワーク 認証 共有	ネットワーク 認証 共有
このイーサネット アダプター(三記証)済みのネットワーク アクセスを提供する(こ は、このオプションを選択してください。 「IEEE 802.1X 認証を有効(こする(N)	このイーサネット アダブター(注理証言済みのネットワーク アクセスを提供する(こ は、このオブションを遵択してください。 「IEEE 802.1X 認証を有効(こする(N)
ネットワークの認証方法の選択(M):	ネットワークの認証方法の選択(M):
Microsoft: 保護された EAP (PEAP) - 設定(S)	AuthorId: 29114: SecureW2 EAP-TTLS - 設定(S)
ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(R)	ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(R)
▼ 承認されていないネットワーク アクセスにフォールバックする(F)	☑ 承認されていないネットワーク アクセスにフォールバックする(F)
追加の設定(D)	追加の設定(D)
OK #+>\t21	OK +vjtil

(a)変更前

(b)変更後

図19 70 号館の設定の切り替え⇒ 61 号館1 階

3. 認証タブがない場合の対処

ノート PC によっては、ローカルエリア接続のプロパティに"認証"タブがない場合があります. その場合は、以下の手順で認証タブを出現させてください.

- ① コントロール パネルを開いてください(1.2. ①参照).
- ② 図20のように、"システムとセキュリティ"をクリックしてください.



図20 システムとセキュリティ

③ 図21のように、"管理ツール"をクリックしてください.



図21 管理ツール

④ 図22のように、"サービス"をダブルクリックし、実行してください.

🔊 コンポーネント サービス	
🗟 サービス	
S S S S S S S S S S S S S S S S S S S	
図22 サービス	

⑤ 図23のように "Wired Auto Config" をクリックし,左側にある "サービスの開始" をクリックしてください.



⊠ 2 3 Wired Auto Config

⑥ 図24のように、"Wired Auto Config"を右クリックし、"プロパティ"をクリックしてください。

Wheel AutoConfe	14.0		
wired AutoConfig	vv	围始(S)	
🎡 WLAN AutoConfig	W	M (Ed. (c))	
WMI Performance Adapter	w	1号止(O) M	
and the terrormance maapeer		一時停止(U)	
Workstation	SI	画盟(M)	
< III		T + 7 + (-)	
	_	— 円起剄(E)	
	_	すべてのタスク(K) ▶	
		最新の情報に更新(F)	
		プロパティ(R)	
		ヘルプ(H)	

⑦ Wired Auto Config のプロパティが開いたら,図25のように"スタートアップの種類:"
 を "自動"にします.

(ローカル コンピュー	ター) Wired AutoConfig のプロパティ	
全般 ログオン 回	复 依存関係	
サービス名:	dot3svc	
表示名:	Wired AutoConfig	
記日月 :	Wired AutoConfig (DOT3SVC) サービスは、イーサネットイン ターフェイスに対して IEEE 802.1X 認証を実行します。現在の	
実行ファイルのパス: C¥Windows¥system32¥svchost <i>e</i> xe -k LocalSystemNetworkRestricted		
スタートアップの 種類(E):	自動	
サービスのスタートアップオブションの構成の詳細を表示します		
サービスの状態:	停止	
開始(S)	停止(T) 一時停止(P) 再開(R)	
ここでサービスを開始するときに適用する開始パラメーターを指定してください。		
開始パラメーター(M)		
	OK キャンセル 適用(A)	

- ⑧ "OK"ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じます.
- ⑨ ローカルエリア接続のプロパティに"認証"タブが出現していることを確認してください.